

# だいしや

NO. 495  
2019年12月16日  
発責 渡辺 一則  
編責 編集委員会

## これまでの経験を糧に

12月6日、車体分会から台車分会へ移管となった井上健さん、高橋秀樹さん、熊谷文昭さん、高橋康博さんの歓迎会を広瀬の蔵で開催しました。

ここ数年、車体科では委託外注化が進み、10名以上が台車科へ異動となっています。また、委託外注化の理由としてエルダー社員の活用が言われていましたが、疑問を感じるものとなっています。

会社は技術継承が重要と言っていますが、新たなジョブローテーションを見ても、全系統で行っていきと言いはじめ、本気で継承しようとしているのか疑問の声が出ています。

移管となった4名も、異動は不本意ではあるものの、これまでの経験を糧に台車でも頑張っていくことが述べられていました。

### 年配も若手も同じ状況

この3年間で、車体科から台車科へは国労組合員だけで12名が異動となっています。今では台車分会の1/4が車体科からの異動者となっています。異動して仕事を覚えても、1~2年後には退職を迎える方も多く、退職間際に新しい仕事を覚えることに不安を感じていることも多く言われています。

一方、台車科は、ここ数年急激に若返りが図られ、半数が20~30代となってきています。その仲間も同じ職場に3年いれば良いほうで、極端な人では、半年で他の科に異動になることも出ています。1・2年で班長になり、悩む若手も出てきています。

今年の自己申告書では、ジョブローテーションを先取りした異動や、やりたい業務、目標などを記入しなければならなくなり、困っている若手も多くいました。そして、個人面談では年配者は5~10分の面談が多くなっていましたが、若手では30分以上という社員が多くいました。

### 状況は違っても一緒の対応

国鉄採用者は、人が余っているからと売店や清掃、首都圏への異動を強制的に行う事がありました。若手は、今後、海外への異動などが想定され、誰にも相談できないままに異動するか辞める選択をするかで悩む状況が出て来るのではないかと危惧するところです。結局は国鉄採用者と変わりません。

### これまでの取り組みを生かしていこう

分会としてこれまで、仕事はわかるまで、不安のない状態でやれるようにしようと見習い回数にこだわらせないことを取り組んできました。その結果、以前のような3回で一本という事はなくなり、十分な時間を保証させてきました。

それでも不安なことは一杯あります。歓迎会の中でも台車科に対する疑問の声も出されました。

それらの声を一要求としていくこと、仕事も仕事以外も遠慮なく聞ける体制を作っていくこと、みんなで会社に伝え、対応してもらうことなどを確認しながら、歓迎会は終了となりました。



4名の分会異動者の皆さん



あいさつに聞き入る参加者

## これが働き方改革なの???

聞くところによれば、幹総会が働き方改革と称して2回目の勉強会を行った模様です。

中身は、1日の労働時間を30分長くして、週休2日を目指し、会社に提言していくという事ようです。

これに対して、これまで付いていた30分の超勤手当ではどうなるのか。子供の送り迎えをしている社員が延長保育をせざるを得ない場合に会社が保育料の面倒を見てくれるのか。通院もできなくなるなど疑問・心配の声が多く出されています。

確かに、30分長くしても1日8時間、1週40時間をクリアしていますから労基法上は問題ありませんが、みんなの意見を聞く必要があるのではないかと思います。

全体が良くなるには、例えば非現業と同じ勤務にすれば30分長くしなくても週休2日になります。または、1890時間となっているJR東日本の年間労働時間を国の目標である1800時間にすれば11日の休日増加となり、ほぼ週休2日となります。

労基法は最低基準を決めたものであり、それを上回るものとするのが労働基準法の理念です。働き方改革を言うならば、そういうことを考え提言してほしいものです。

なぜいま幹総会がこういう提言を行うと言っているのか疑問も出ています。来年には周期延伸されると言われています。ワークを増やすといっても作業量が減る中で、どうやって増やしていくのかも疑問となっています。そこから見えるのは、過半数代表選です。2年連続で過半数代表選挙で敗北していることから、週休2日制を打ち出して、アピールしたいという事ではないかと言われています。



## またしても考えられないエルダー提示

エルダー提示については、制度導入時から会社が決めた前年11月の提示が守られず、千葉さんの時のように定年1週間前になってやっと提示される状況や社員とキャッチボールをしながら丁寧に説明するという事が守られない状況が続いています。

今回は、庄司さんの提示について希望地とは違うJ-tec古川という提示がされています。小牛田・古川地区を希望する社員が受け入れ先がないと言われ幹総に提示になっていたのに、幹総内を希望していた社員が通勤も大変な古川に提示されることに、JR東日本の非人間性を感じざるを得ません。



### ○今後の日程

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 1月10日 | 支部旗開き (利府コミ)      |
| 1月11日 | 地本春闘討論集会 (法華クラブ)  |
| 1月12日 | 東日本本部マラソン大会 (皇居)  |
| 1月24日 | 分会旗開き (南町通り 泰陽楼)  |
| 1月30日 | 第38回定期分会大会 (利府コミ) |

## 第38回分会大会のご案内

日 時 2020年1月30日 (木) 18:10~  
場 所 利府コミュニティーセンター

全組合員の参加をお願いします